

平成29年度 首都圏進路研修 感想文

コース【G】

研修先【東大理学部

】2年5組

番氏名

私は物理学や工学に関心があり、今回表面物理学の分野について詳しい解説を聞き、学問への興味を深めることができました。科学雑誌をよく読むのですが、量子力学や相対性理論などの研究によって明らかになる奇怪な現象に興味をもち、表面物理などの少しこまごまとした分野は理解がすすまず、あまり関心もてませんでしたが、しかし、今回、丁寧な講義と実際に施設を拜見したことによって興味が出てきました。またその一研究しか見ていないので、他の研究も見てみたいと思いました。科学雑誌も視野に飛びこんでくるとおもしろいことだけを読み込むのではなく、一見地味だったり、興味をそそがない範囲のものも、しっかり読みこんで、多くのことを知ること大切だと思いました。今回学んだ経験をお忘れずに多くのことに活かしていきたいと思います。この度は本当にありがとうございました。

平成29年度 首都圏進路研修 感想文

コース【G】

研修先【東大理学部

】2年5組

番氏名

先日は、首都圏研修において、東大理学部
を案内いただきましてありがとうございました。
した。

当日は、東大理学部に関する進学情報や、
研究室での実際の装置についてお話いただき
大変有意義な時間を過ごすことができました。
中でも特に印象に残っているのは、STMに
よる物質表面の調査についてです。非常に精
密な針やトンネル効果の原理を用いて行われ
る実験のお話から、ミクロな世界の研究の細
やかさを感じ取りました。

これまで僕がほとんど知識を持っていないか
ら物性物理という分野の奥深さを知ること
ができたのは、今回お世話になり、た長谷川教
授のおかげです。教授には守邦宮女子高校で
も物理チャレンジ講座でもお世話になり、非
常に感謝しております。物理チャレンジはと
てもきっかけとして、これから物理に興味を
持ち続け、学んでいきたいと思っております。本当
にありがとうございました。

平成29年度 首都圏進路研修 感想文

コース【 0 】

研修先【 東大理学部 】

2年 6組

番 氏名

長谷川教授に物性物理学、特に表面物理学の模擬授業をして頂いた。内容は、同教授の研究室で行われている小さな針を使って様々な物質に電流を流す実験と、東大理学部がどのような所であるかについてが半々程度であった。物性物理学については、完全に理解できなかったのは言い難く、自分の知識の至らなさを痛感した次第である。これは自分の学問への探求心をかき立ててくれた爽やかな刺激であった。数年後に自分がその模擬授業より遙かに高いレベルと思わせる大学の授業を受け、学問に打ち込んでいる人と想像すると心が躍る。またそのような研鑽を積み上げていこうと思う。模擬授業の後に見学させて頂いた研究室では、研究員の方々が楽しそうに過ごしているのが印象的であった。世界の最先端を走る研究室に立ち入り、その雰囲気を知ることが出来たのも良い経験になった。

今更、東京大学理学部に合格できるという、日頃の勉強に打ち込みたい。